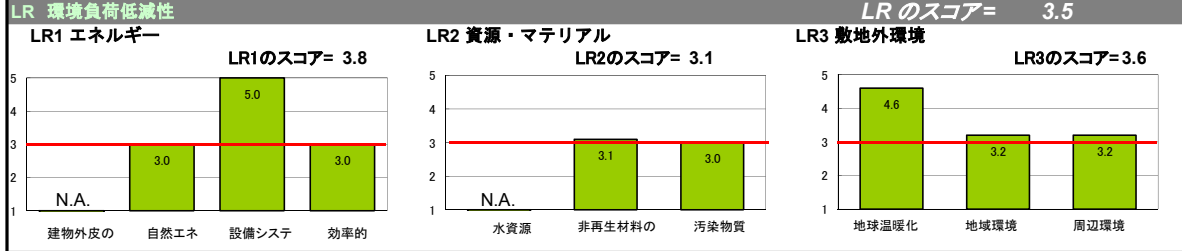
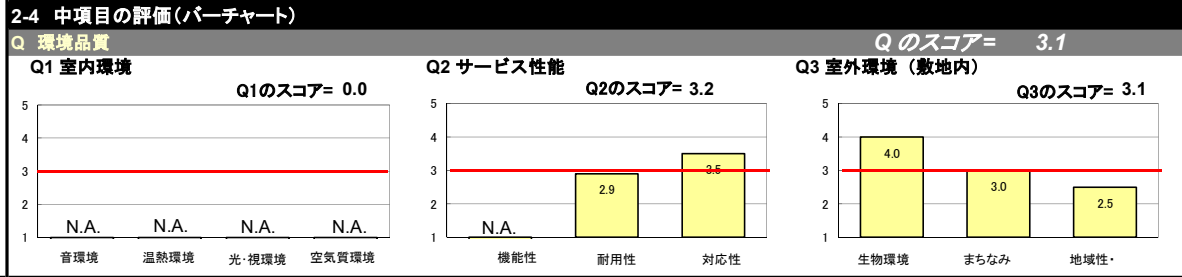
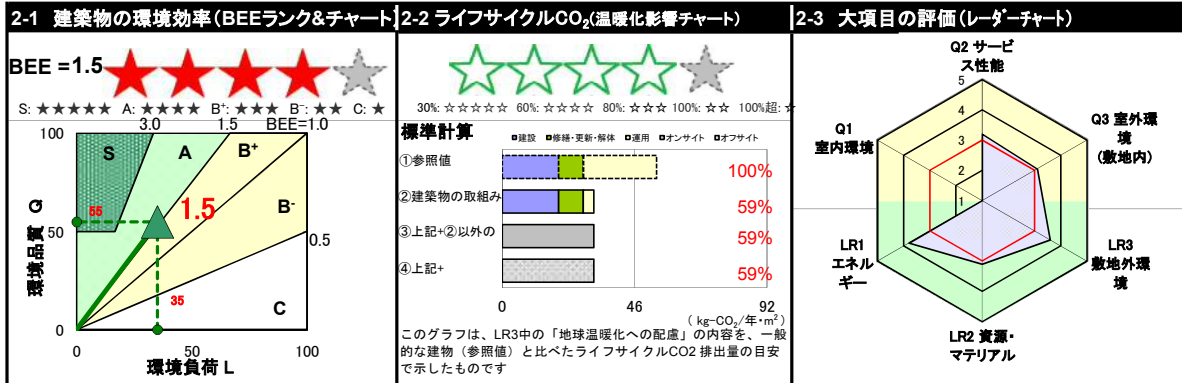


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	トヨタ自動車株式会社平山寮(立駐)	階数	地下1階地上2F
建設地	愛知県豊田市	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、法22条区域	平均居住人員	0人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年10月2日
敷地面積	5,199 m ²	作成者	伊藤 みゆき
建築面積	3,393 m ²	確認日	2017年10月2日
延床面積	10,143 m ²	確認者	伊藤 みゆき



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">41.0 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.1</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>〈外装材に使用した地域性のある材料〉</p> <p>なし</p> <p>〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

3 対応性・更新性				3.5	0.48				3.5
3.1 空間のゆとり				3.2	0.31				
1 階高のゆとり				2.0	0.60				
2 空間の形状・自由さ			壁がない	5.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31				
3.3 設備の更新性				4.3	0.38				
1 空調配管の更新性		②		-	-				
2 給排水管の更新性				-	-				
3 電気配線の更新性			仕上材を傷めることなく、電気配線の更新・修繕ができる	5.0	0.33				
4 通信配線の更新性				-	-				
5 設備機器の更新性			設備機器更新時に仮設スペースが確保でき、建物機能を維持できる	4.0	0.67				
6 バックアップスペースの確保				-	-				
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57				3.1
1 生物環境の保全と創出		独自③	外構緑化指数41%、適切な緑地作りを行っている	4.0	0.30				4.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30				2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50				
3.2 敷地内温暖環境の向上				3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性									3.5
LR1 エネルギー					0.40				3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制					-				-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.28				3.0
3 設備システムの高効率化			BEIm=0.14	5.0	0.43				5.0
4 効率的運用				3.0	0.29				3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00				
4.1 モニタリング				3.0	0.50				
4.2 運用管理体制				3.0	0.50				
集合住宅の評価					-				
4.1 モニタリング					-				
4.2 運用管理体制					-				
LR2 資源・マテリアル					0.30				3.1
1 水資源保護					-				-
1.1 節水					-				-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					-				-
1 雨水利用システム導入の有無					-				-
2 雑排水等利用システム導入の有無					-				-
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.74				3.1
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	高炉セメント、基礎・基礎梁	5.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	1.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	躯体と仕上材が容易に分別可能	4.0	0.24				
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.26				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	1.00				
3.2 フロン・ハロンの回避					-				-
1 消火剤					-				-
2 発泡剤(断熱材等)					-				-
3 冷媒					-				-
LR3 敷地外環境					0.30				3.6
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率 59%	4.6	0.33				4.6
2 地域環境への配慮				3.2	0.33				3.2
2.1 大気汚染防止			燃焼器具を使用しない	5.0	0.25				
2.2 温暖環境悪化の改善				2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制				4.0	0.25				
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.33				
2 汚水処理負荷抑制					-				-
3 交通負荷抑制		独自	建物内外に駐輪場、敷地内には、適切な駐車スペースの立体駐車4カ所のエコステーションによりゴミを分別回収	5.0	0.33				
4 廃棄物処理負荷抑制				4.0	0.33				
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33				3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					-				-
1 騒音		独自			-				-
2 振動		独自			-				-
3 悪臭					-				-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.67				
1 風害の抑制					-				-
2 砂塵の抑制				3.0	1.00				
3 日照障害の抑制				3.7	0.33				
3.3 光害の抑制				4.0	0.70				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			日影規制を満たしている	3.0	0.30				
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					-				-

重点項目スコアシート

トヨタ自動車株式会社平山寮(立駐B)

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.6	0.10	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.22	
③ 敷地内の緑化				4.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	4.0	0.17	外構緑化:41%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 トヨタ自動車株式会社平山

計画上の配慮事項	
総合	居住者の利便性と近隣の渋滞を回避する為、十分な駐車スペースを確保した。
Q1 室内環境	評価対象外
Q2 サービス性能	鋼製手摺は、溶融亜鉛メッキ仕上とし、耐候性に配慮
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。 ・敷地廻りには、緑地を設け、豊かな自然環境を目指すとともに、近隣の景観に配慮
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率設備機器を採用(LED照明)
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・躯体と仕上が容易に分別ができるよう配慮
LR3 敷地外環境	適切な駐車スペースを確保。
その他	